



本町ほのぼのだより 第39号

発行：中野区立本町図書館 中野区本町2丁目13番2号 Tel 03-3373-1666

発行年月日：平成29年10月28日 第39号

第39回 本町図書館 「個性ある図書館」展示

たのしいお江戸案内

本町図書館では、『文化・芸術・芸能』に関する資料を、絵画や音楽、工芸、伝統芸能など幅広い分野にわたって収集・展示をしております。

第39回目となる今回は、「たのしいお江戸案内」と題して、「江戸時代」と「江戸」をテーマにした展示をお届けします。

約260年続いた江戸時代は、大きな戦がない平和な時代でした。街道や港などが整備され、商品や貨幣が流通し、商業が発展しました。商人たちが台頭し、経済力で武士たちをしのぐようになると、浮世絵や歌舞伎など町人文化が花開きます。また、江戸の町は将軍のお膝元として街づくりが成され、活気に満ちていました。現在の東京の街にも、江戸時代の面影が色濃く残っています。

今年は、江戸幕府が朝廷に政権を返上した「大政奉還」から150年にあたります。この節目の年に、江戸時代や江戸について調べてみませんか？



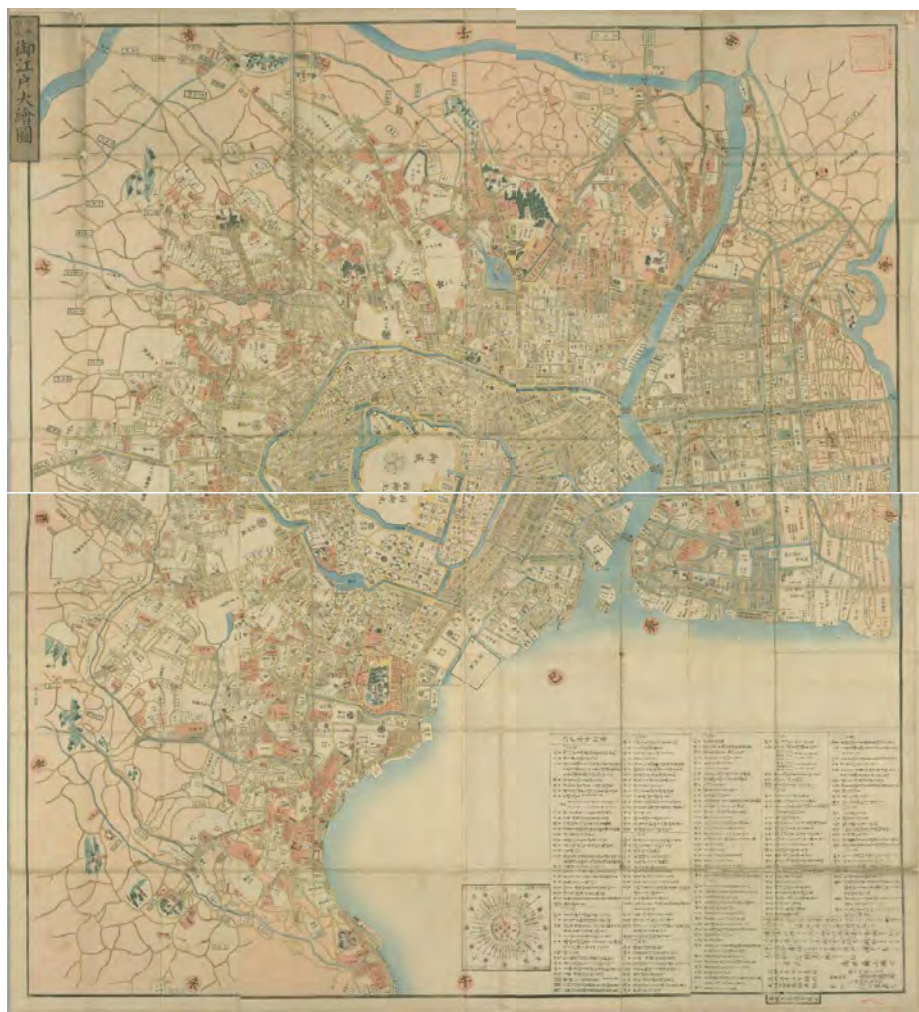
展示場所：本町図書館 2階書架

展示期間：平成29年 10月28日(土) ～ 12月21日(木)

※ 展示資料は貸出もできます。



●百万都市・江戸



「江戸っ子」とは

江戸っ子とは、江戸で生まれ、江戸で育った者のことです。金離れの良い、威勢のいい人物と捉えられました。他国出身者が多くなった江戸時代後半に多く使われるようになりました。

「諸国の掃溜」

江戸時代の正確な人口は分かっていません。それというのも、江戸は参勤交代などで地方から単身赴任する武士や出稼ぎ労働者が多かったからです。しかし、江戸の町人だけでも 50 万人がいました。推計で 100 万以上だったと考えられています。

『安政改正御江戸大絵図』

（徳川氏以前の江戸）

中世、現在の皇居あたりには江戸氏が居館を構えていました。1457 年には、太田道灌が江戸氏を駆逐し、江戸城を築城します。以後、上杉氏、北条氏が支配しました。徳川家康が入府する以前は寒村と言われていましたが、昨今の研究では交通の要衝であったとする説が有力です。

（徳川家康の入府）

1590 年、江戸に入った家康は低湿地帯を開拓し、運河や堀削を拓いて交通の便をはかりました。また、江戸城のそばまで海がせまっていたため、神田山を切り崩し、入り江を埋め立てました。町割りも、原則として埋立地・干拓地は町人に、山の手は武士に配分されました。

（大江戸八百八町）

江戸から地方へ通ずる街道や港の整備をすすめ、商業都市として江戸は発展します。人口が流入し続け、市街地は拡大していきます。1657 年の大火により、大半の江戸の市街地は焼失しました。これを機に、寺社地や大名屋敷を郊外へ移転させ、道路を拡張し、火よけ地を設けました。

（江戸の範囲）

江戸の範囲は決まっていませんでしたが、1818 年に幕府は江戸の地図上に朱線を引いて府内と府外に分けました。これを朱引といいます。府内は、東は中川、西は神田上水、南は目黒川、北は荒川、石神井川下流の内側と決定しました。尚、同時に町奉行の管轄地域も設定され、その範囲に黒線が引かれました。これを墨引といいます。

ちなみに、本町図書館のある中野坂上付近は、府外になります。

●江戸時代の中野・中野坂上・新宿

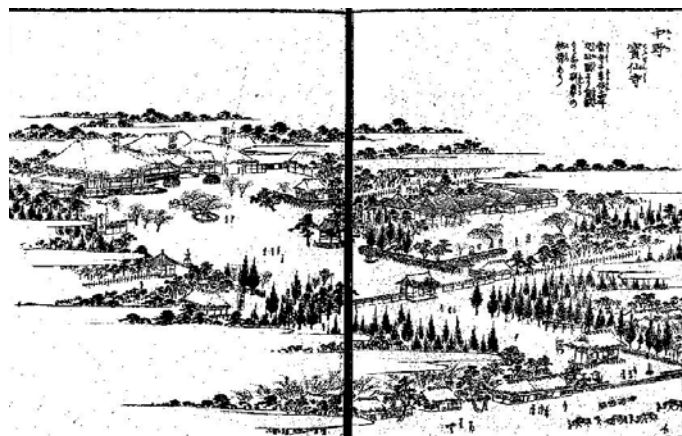


江戸名所図会・桃園春興

中野区中野のあたりは、生類憐みの令を発した五代將軍・綱吉の命により、犬小屋が建てられた場所でした。その後、八代將軍・吉宗がこの地に桃を植えたことにより、一大観光地となり、桃の木が有名になりました。

江戸名所図会・宝仙寺

中野有数の古刹です。平安時代に源義家によって阿佐ヶ谷の地に創建され、室町時代に現在の地に移転しました。江戸時代に三重塔が建てられ、青梅街道を往来する人々の目に留まりました。また、吉宗が輸入した象の遺骨が納められていることでも有名です。



江戸名所図会・内藤新宿

江戸四宿とは、品川、板橋、千住、内藤新宿の宿場町を指します。これらの宿場町は、地方から江戸への入り口として大変にぎわっていました。産業道路として機能した甲州街道沿いの内藤新宿も活気がありましたが、馬糞が多く、広重の江戸名所百景でもその様子が描かれています。



歌川広重 名所江戸百景・角筈熊野十二社

新宿中央公園の北西に熊野神社があります。中野長者・鈴木九郎が故郷の熊野より十二社権現を勧請して創建しました。神社周辺には池と多数の茶屋があり、景勝地としてにぎわいました。江戸庶民に人気でしたが、1968年の新宿副都心の開発により、池は埋め立てられました。



※画像は国立国会図書館WEBサイトから転載。

江戸時代あれこれ

（江戸時代とは）

関ヶ原の戦いで勝利を収めた徳川家康が、1603 年江戸に幕府を開いた頃から、1867 年に徳川慶喜が朝廷に政権を返上した大政奉還にいたるまでの 265 年間を「江戸時代」と呼びます。徳川家が権力を握ったことから、徳川時代と呼ばれることもあります。

江戸幕府の強力な支配体制の下に社会は安定し、参勤交代や鎖国などの制度が整えられます。商工業が発展し、元禄の頃には町人たちによる文化が開花しました。やがて武士も贅沢になり、幕府や藩の財政は悪化します。そこで、吉宗の享保の改革、田沼意次の重商政策、松平定信の寛政の改革、水野忠邦の天保の改革など、たびたび政治改革が行われました。しかし、財政は慢性的に悪化したままでした。

11 代将軍・家斉の頃には江戸の町人たちによる化政文化が栄えますが、災害や飢饉が続き、百姓一揆や打ちこわしが起こりました。世情が不安定な中、外国の圧力に屈する形で 1858 年に開国します。そして、長州藩を中心として倒幕運動がおこり、1867 年に幕府は滅びました。

（征夷大將軍とは）

奈良・平安時代の征夷大將軍とは、文字通り「夷」を討伐する將軍を意味しました。鎌倉時代、源頼朝が征夷大將軍に任じられてからは、武士の棟梁としての称号となり、事実上日本の最高権力者のことをさします。江戸時代には、徳川宗家の当主が就任しました。

（歴代の将軍）

写真は徳川慶喜。



	名前	在位	生没年	備考
初代	徳川家康	1603～1605	1542～1616	三河出身。
2 代	徳川秀忠	1605～1623	1579～1632	家康の三男。
3 代	徳川家光	1623～1651	1604～1651	鎖国が完成する。
4 代	徳川家綱	1651～1680	1641～1680	文治政治への政策転換。
5 代	徳川綱吉	1680～1709	1646～1709	生類憐みの令を布告する。
6 代	徳川家宣	1709～1712	1662～1712	新井白石を重用する。
7 代	徳川家継	1713～1716	1709～1716	史上最年少の征夷大將軍。
8 代	徳川吉宗	1716～1745	1684～1751	紀伊家出身。享保の改革を行う。
9 代	徳川家重	1745～1760	1711～1761	大岡忠光を重用する。
10 代	徳川家治	1760～1786	1737～1786	田沼意次を重用する。
11 代	徳川家斉	1787～1837	1773～1841	一橋家出身。
12 代	徳川家慶	1837～1853	1793～1853	ペリー来航時の將軍。
13 代	徳川家定	1853～1858	1824～1858	ハリスと対面。
14 代	徳川家茂	1858～1866	1846～1866	紀伊家出身。皇女・和宮と結婚。
15 代	徳川慶喜	1866～1867	1837～1913	水戸家出身。一橋家当主となり、宗家を継ぐ。

（江戸城）

1457 年、太田道灌が江戸城築城後、上杉氏・北条氏が治めました。1590 年に徳川家康が入城し、以後、徳川氏 15 代の居城となります。家光の頃に地上約 60m の天守閣が建てられますが、1657 年の明暦の大火で焼失しました。以後、天守閣は再建されませんでした。江戸城は本城（本丸、二の丸、三の丸）、西城（西の丸）、吹上の三部から構成されています。本丸には表、中奥、大奥からなる本丸御殿があり、表は老中たちが政治を行うところで、中奥は將軍の公邸、大奥は將軍の妻子らの生活場所でした。西の丸には、お世継ぎや將軍を隠居した大御所が居住しました。明治維新後に、皇居となりました。

幕末の江戸

今年は大政奉還から 150 年。

長く続いた徳川幕府は、1853 年のペリーの来航以来急速に力を衰えます。諸外国と和親条約を締結したのち、国内では「開国」か「尊皇攘夷」かと論争が起き、ついには倒幕運動へと発展します。不安定な世情のなか、江戸では、安政の大地震、桜田門外の変、イギリス公使官邸焼き討ち事件などが起きました。東海地方では「ええじゃないか」が起きるなど、庶民の間では世直しが期待されました。幕末の動乱の中、江戸ではどのような事件が起こっていたのでしょうか。

安政の大地震

1855 年に起きた安政東海地震、安政南海地震に続き、翌年に江戸も大地震に見舞われます。江戸では、大名屋敷が倒壊するなど被害が大きく、この地震後は瓦版や鯰絵が売れました。地震は各地でも立て続けに起きました。



『銘細改板江戸大地震出火場所附』



『安政五戊午年三月三日於テ桜田御門外ニ水府脱士之』

『軍会盟シテ雪中ニ大老彦根侯ヲ襲撃之図』

桜田門外の変

井伊直弼は、勅許を得ずに諸外国との条約に踏み切りました。そして、反対派を弾圧する安政の大獄を行い、尊皇攘夷派から恨まれます。1860 年、井伊直弼は水戸浪士らにより、江戸城桜田門外で暗殺されました。現職の大老が暗殺されたことにより、幕府の威信は地に落ちました。

上野戦争

1868 年鳥羽伏見の戦いで幕府軍は敗北、慶喜は江戸で謹慎します。西郷隆盛と勝海舟の会談により、江戸城は無血開城しますが、これに納得のいかない幕府軍は、上野で新政府軍と戦います。新政府軍の勝利に終わりますが、寛永寺の根本中堂が焼け落ち、被害は甚大でした。



『上野大合戦中堂之場』 ※画像は国立国会図書館WEBサイトから転載。

参考文献：『ビジュアルワイド江戸時代館』2 版 小学館 2013 年



展示図書リスト

書名	著者	出版者	出版年	請求記号
江戸の備忘録	磯田 道史 著	文藝春秋	2013	210.04 イ
江戸開幕	藤井 譲治 著	講談社	2016	210.5 7
秩禄処分	落合 弘樹 著	講談社	2015	210.6 オ
江戸大古地図	菅野 俊輔 監修	宝島社	2016	213.6 エ
江戸の大普請	タイモン・スクリーチ 著	講談社	2017	213.6 ス
龍馬史	磯田 道史 著	文藝春秋	2013	289.1 サ
彰義隊	吉村 昭 著	新潮社	2009	913.6 ヨ
天狗争乱	吉村 昭 著	新潮社	2009	913.6 ヨ

江戸について調べてみよう！

今回ご紹介した他にも江戸時代と江戸に関する図書はたくさんあります。また、図書のほかに、雑誌記事、新聞などでも調べられます。いろいろな情報源を使って、調べてみましょう。

1. キーワードを使って調べよう

次のキーワードを参考にして調べよう。

江戸時代	江戸幕府(徳川幕府)	将軍	徳川家	大奥	幕末・明治維新
幕藩体制	鎖国	江戸	大名屋敷	旗本	古地図・切絵図

2. 基本的な情報源を使って調べよう

辞書・事典類を使って、テーマについての基本的な事柄を押さえよう。

書名	請求記号	所蔵館
ビジュアルワイド 江戸時代館	210.5 ビ	本町・中央
江戸幕府大事典	R210.5 エ	中央
徳川歴代将軍事典	R210.5 オ	中央



3. 図書を探そう

図書館では、関連分野ごとに図書が並んでいる。[テーマの欄]を実際に見て、図書を探そう。

分野	請求記号	分野	請求記号	分野	請求記号
江戸時代	210. 5	東京の歴史	213. 6	東京の地理	291. 36
法制史	322	衣食住の歴史	383	浮世絵	721
演劇	770	江戸時代の詩歌	911.15	江戸時代の小説	913. 5

図書館のホームページやOPACを使って、図書を探そう。



〔中野区内に図書があるか〕

●中野区立図書館ホームページを使って調べよう。

→ <http://www3.city.tokyo-nakano.lg.jp/tosho/index.asp>

〔東京都内に図書があるか〕

●東京都立図書館のホームページを使って調べよう。

→ <http://www.library.metro.tokyo.jp/>

〔国内に図書があるか〕

●国立国会図書館のホームページを使って調べよう。

→ <http://www.ndl.go.jp/>

4. 雑誌・新聞記事を探そう

●関連の雑誌を調べよう。

雑誌名	出版者	所蔵館
歴史人	ベストセラーズ	本町・南台
歴博	国立歴史民俗博物館	本町・中央・野方・鷺宮・東中野
歴史街道	PHP研究所	中央・野方

※他にも、「サライ」などの雑誌で、江戸時代の文化の特集が組まれていることがあります。

●中央図書館参考室の雑誌新聞記事索引データベースを使って調べよう。

日経テレコン21	1975年からの日経4紙(経済・産業・金融・流通)の新聞全文や企業情報などが検索可能。
聞蔵IIビジュアル	朝日新聞のほか、知恵蔵・AERAなどが検索可能。
MAGAZINE PLUS	雑誌記事や論文情報検索が可能。
WHO PLUS	歴史上の人物から現在活躍中の人物について検索可能。
官報情報検索サービス	1947年から当日までの官報が検索可能。
D1-Law.com	判例などの法律情報が検索可能。

5. インターネットを使って調べよう

・東京国立博物館(<http://www.tnm.jp/>)

貴重な和書、漢籍をホームページ上で閲覧できる「デジタルライブラリー」や著作権の切れた文化財を検索できるサービスなどがあります。また、e国宝(<http://www.emuseum.jp/>)ともリンクしています。

・東京都立図書館(<http://www.library.metro.tokyo.jp/>)

「江戸・東京デジタルミュージアム」や「特別コレクション」などで江戸について調べることができます。

本町図書館からのお知らせ



本町図書館「個性ある図書館」展示「たのしいお江戸案内」はお楽しみいただけましたでしょうか。これからもみなさまの身近にある、お役に立つ図書館、新しい発見のある図書館を目指して、スタッフ一同取り組んでまいります。



☆おはなし会☆

毎週土曜日 11:00～11:30

第4水曜日 15:30～16:00

児童室にて開催中！

第4土曜日は乳幼児向けの
「おひざでだっこのおはなし会」

☆「個性ある図書館」展示☆

下記のテーマの本は展示しています。

第35回・シルクロード

第36回・博物学

第37回・洋楽

第38回・日本映画



第1回～第34回の
「個性ある図書館」展示の本
は一般書架にあります。
是非ご覧下さい！



☆11月・12月の休館日のご案内☆

<11月>

6日(月)～8日(水)・蔵書点検

13日(月)、24日(金)

<12月>

11日(月)、22日(金)

29日(金)～1月3日(水)・年末年始



『本町ほのほのだより』

第40号は12月23日
発行予定です。